

# 経済透視図

98

国内でテクノロジー性は大きく、普及がま  
を活用して法務業務をすます進むと期待され  
支援する「リーガルテック」の普及

が進んでいる。リーガルテックの中でも特に  
ルテックは訴訟大国と先行して普及している  
いわれる米国で先行したのは電子契約だ。コロ  
て発展してきたが、日ナ禍での業務プロセス  
本でもコロナ禍におけるの急変により大きく導  
るリモートワークの浸入が進み、印紙代の削  
透により普及が一気に減や業務効率化などコ  
加速した。アフターコスト面での貢献が大き  
い。ロナ時代においても、一方、導入後の利用  
労働人口の減少などに率課題とされてい  
よる業務効率化の必要

## リーガルテック普及

る。既存の業務プロセス外における電子化推進  
スの変革を伴うことの機運をより一層高め  
と、契約という性質でいく必要がある。また、昨今のサプラ  
上、取引先の理解を得る必要があるからだ。も特に負荷が高いとき  
利用改善には、社内

弱でコスト面から弁  
護士を活用しづらい中  
小企業にとっては大き  
な課題である。  
この課題に対して積  
極的に取り組んでいる  
スタートアップとして  
リスエ（東京都中央区）  
がある。  
特に、利用者のニ  
ズに合わせて問題点の  
指摘レベルを変更でき  
る機能や自社の立場に  
応じた丁寧な解説が高  
質な顧客体験（UX）  
を実現することがサー  
ビスの特徴だ。サービ  
スの使いやすさと価格  
設定により、中小企業  
でも採用がしやすく、  
導入が進んでいる。  
従来、AIを用いた  
契約書レビューサービ  
スについては、弁護士  
の知見と差別化され  
たAIで法務担当者  
の知見のレベルによ  
り

## 法務弱い中小に導入進む

が抱える法務リスクは  
基大化し、契約締結の  
時点で取引の安全性を  
担保しておく必要性は  
高まっている。  
この点、特に社内の  
法務機能が比較的脆  
弱でコスト面から弁  
護士を活用しづらい中  
小企業にとっては大き  
な課題である。  
この課題に対して積  
極的に取り組んでいる  
スタートアップとして  
リスエ（東京都中央区）  
がある。  
特に、利用者のニ  
ズに合わせて問題点の  
指摘レベルを変更でき  
る機能や自社の立場に  
応じた丁寧な解説が高  
質な顧客体験（UX）  
を実現することがサー  
ビスの特徴だ。サービ  
スの使いやすさと価格  
設定により、中小企業  
でも採用がしやすく、  
導入が進んでいる。  
従来、AIを用いた  
契約書レビューサービ  
スについては、弁護士  
の知見と差別化され  
たAIで法務担当者  
の知見のレベルによ  
り



SMBBC日興証券  
フライベート・  
キャピタル・  
ソリューション室  
野田 宣幸

無断転載・複写禁止